



# 第3期中原区区民会議

## 中間報告書 (概要版)

中原区区民会議  
平成23年3月



### ■委員

青木 英光  
板倉 徹  
稲富 正行  
大下 由美子  
岡本 治子  
川崎 グラディス  
川連 昌久  
杉野 茂彦  
鈴木 眞智子  
反町 充宏  
寺岡 滋  
富岡 茂太郎  
芳賀 誠  
藤嶋 とみ子  
松原 清一  
松本 玲子  
村山 十九男  
矢野 和昭  
山川 哲生  
吉房 正三

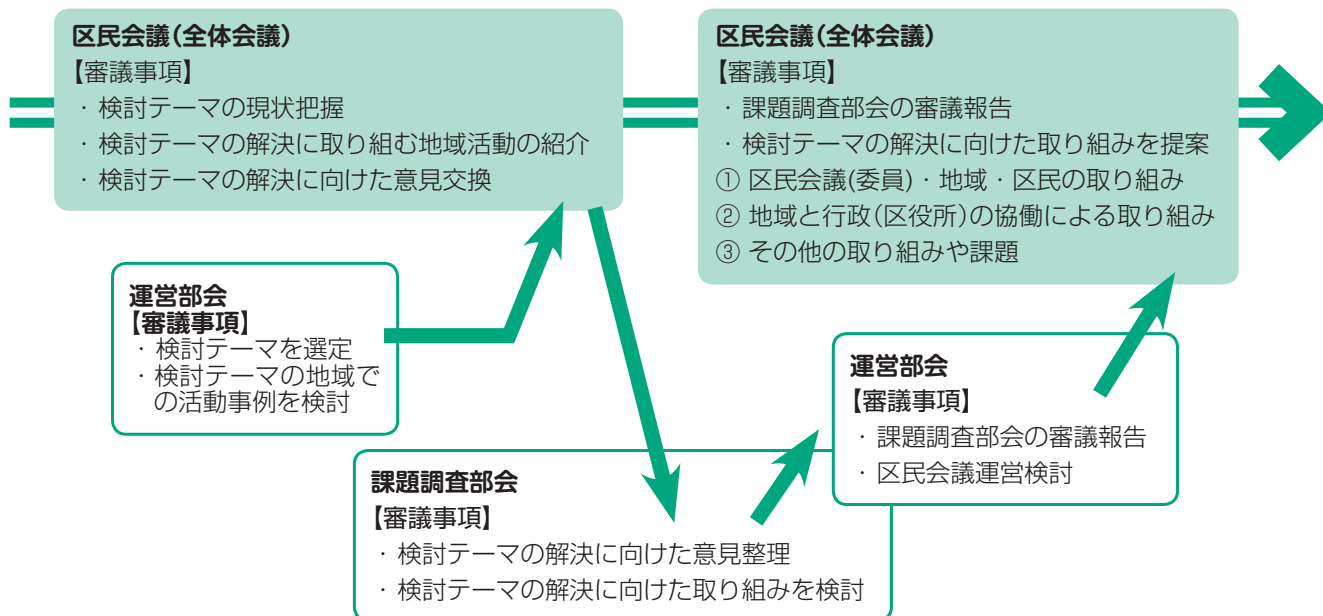
### ■参与

■川崎市議会議員  
市古 映美  
潮田 智信  
大庭 裕子  
清水 勝利  
志村 勝  
立野 千秋  
東 正則  
松原 成文  
吉岡 俊祐

### ■神奈川県議会議員

滝田 孝徳  
田島 信二  
徳安 久是

### ■ 中原区区民会議の審議の流れ



#### ①検討テーマの選定

地域が抱えている様々な課題について、区民会議委員が日々の活動を通して検討する必要があると考える課題、区役所が業務を通じて把握した課題、区民から寄せられた課題の中から、緊急性や重要性を勘案して運営部会で選定します。

#### ②検討テーマに関する現状及び課題の把握

検討テーマとなった事項について、地域で具体的に行われている取り組みなどを手掛かりに、そのテーマの現状や克服すべき課題などの調査を行い、検调用資料等を作成します。

#### ③区民会議における審議、検討

現状や課題の調査や資料などに基づいて、課題の解決策や地域での取り組みの在り方などを検討します。

#### ④地域社会での取り組み

会議での検討を踏まえて、委員及び区役所は課題解決に向けた取り組みを推進します。

#### ⑤市長および区長への報告

区民会議の2年間の活動結果について、市長及び区長に報告します。

## 検討テーマ①「安全・安心のきずなづくりに向けて」

### (1) 現状及び課題の把握

第3期1つ目のテーマは、区民会議委員の中でも最も関心が高かった「安全・安心のきずなづくりに向けて」。平成22年度第2回と第3回で議論を行いました。

第2回区民会議では、防災に関する身近な制度について説明を受け、区民会議委員が考える取り組みのアイデアについて意見交換しました。課題調査部会では、地域での防災訓練などの実施状況や区民意識を調査し、解決に向けた取り組みを検討しました。これらの審議をうけ、第3回区民会議で、「安全・安心のまちづくりに向けた具体的な取り組み事項」をまとめました。

#### ■身近な防災の制度

名称	災害時要援護者避難支援制度	第2次 災害時一人も見逃さない運動	避難所運営会議	ひとり暮らし等高齢者見守り事業 ※高齢者支援制度
制度概要	●災害時に自力で避難することが困難な災害時要援護者の方々から名簿登録の申込みをしていただき、地域の支援組織に名簿情報を提供し、地域において共助による避難支援体制づくりを行う。 【H19年12月】	●民生委員児童委員の日頃の活動を通じて、ひとり暮らし高齢者や高齢者だけの世帯、乳幼児を抱える世帯など、要援護者の情報を収集している。この情報を災害発生時に役立てようとする運動。 【H18年4月】	●避難所ごとに地域住民と行政機関が一体となつて避難所運営を行うことが必要であるため、地域の自主防災組織を中心として、施設管理者、ボランティア等による避難所運営会議を構成し、避難所の管理運営を行うものとする。	●地域の実情に通じている民生委員の協力のもと、担当地区のひとり暮らし高齢者世帯の世帯状況や身体状況等の実態を把握し、ひとり暮らし高齢者等の話し合いの機会を増やし、安否の確認に役立て、見守りネットワークづくりに活用していく。【H14年9月】
実施者 (支援組織)	●町内会・自治会・自主防災組織(住民組織)の代表者	●各地区民生委員児童委員協議会	●自主防災組織を中心とした組織 ●施設管理者(学校)、ボランティア等	●民生委員児童委員
制度所管	●総務局危機管理室、健康福祉局地域福祉課共管	●全国民生委員児童委員連合会	●中原区役所地域振興課	●健康福祉局高齢者在宅サービス課

### (2) 区民会議委員の意見

- 防災は非常に関心を持っている方が多く、防災訓練をやると、町会に加入がない方も防災訓練には出てきてくれる。それにより、防災の新しい仲間が増え、町会に加入する人も増えるのではないかと。
- 中原区地域教育会議などと連携して、中学校区ごとの避難訓練を実施したらどうか。
- 自分の命は自分で守る、自分たちの町は自分たちで守る。向こう三軒両隣の間人関係が大切である。
- 周辺の危険箇所を集めてマップ作りをやるなど、簡単なこと、出来ることから始めることでコミュニティは作られる。
- 今回紹介された防災に関する制度を知らなかった。また、災害時には若い力が必要となる。既に地域に定着しているイベントで若い人も含め、制度について情報発信したらどうか。
- 人が多く集まる場所に、防災の備えなどの掲示物や自分の避難所の地図を貼り出しする。また、「こんにちは赤ちゃん事業」の訪問の際に自分の避難所が何処かなどをお知らせしておく。
- 子育て中の世代に向けての防災意識の構築が必要である。

### (3) 検討テーマ「安全・安心のきずなづくりに向けて」取り組み事項

	取り組み内容(分野)		具体的な実行方法(解決策)	実行主体 (協力依頼団体)
地域・区民・区民会議の 取り組み	区民の 防災意識の向上	区民会議委員出身団体における防災意識の向上	●区民会議委員出身団体等で「ぼうさい出前講座」の開催することで、より多くの方へ防災意識を持ってもらうようにする。	区民会議 各団体
	●防災訓練の参加者からは、日頃からの備えの必要性の声が多く寄せられた。 ●若い世代では防災に備える意識が低かった。	子育て世代における 防災意識の向上	●地域の方が運営する子育てサロンなどで乳幼児子育て世代向けの「ぼうさい出前講座」を開催し、若い世代への防災意識の向上を図る。 ●中原区は20～30代が7区で一番多い区である。	各地区子育て支援 推進委員会 各地区民生委員児 童委員協議会
協働の 取り組み	区民の防災意識の向上		●区民の防災意識を啓発することを目的に市民提案型事業において「防災意識向上事業」を実施する。中原区が実施する既存のイベントを活用して、イベントに参加している区民に防災への意識を高める事業を実施する。	各団体 中原区役所 区民会議

### (4) 課題解決に向けた地域の取り組み

区民会議で解決に向けた取り組みについて議論を行った、安全・安心のきずなづくりに向けて、試行的に解決に向けた取り組みを実践しましたのでご紹介します。

#### ■ 中原区子育てサロン

中原区子育て支援推進実行委員会では、同会委員の松本委員が中心となり、子育て世代へ防災情報などを届けるため、子育て中の保護者と子どもが集う、子育てサロンにおいて、「防災紙芝居」を実施しました。「子育てサロンとどろき」に集まった、約10組の親子が興味を持って防災について学べるように「防災紙芝居」を使い、日ごろの備えの重要性やいざという時の心構えについて呼びかけました。



#### ■ 中原区商店街連合会

中原区商店街連合会では、地域の人が多く集まる商店街の場において、防災についてどのような備えや心構えが必要か、同会の会合で「ぼうさい出前講座」を行いました。同会副会長で区民会議委員である川連委員の呼びかけにより実現したものです。

地域の人が多く集まり商店街という場において、防災に対する備えについて日ごろから関心を持ち、防災に対する意識を高めることが必要だと認識を深めました。



## ■中原区市民提案型事業

地域の課題を行政と協働し、地域自らが解決する事を目的に実施される中原区市民提案型事業において、若い世代の防災意識をいかに向上させるかを課題として、「防災意識向上事業」を実施する団体の募集を行いました。

NPO法人カワサキミュージックキャストから、中原区内で行われるイベントで、防災をテーマとした紙芝居の実演を行う事業の提案があり採用されました。今回の提案は、単純に紙芝居を行うだけではなく、音楽の生演奏をバックに、この事業のために製作された防災紙芝居を子ども達に提供するという、「音楽のまち・かわさき」にふさわしい事業でした。区民会議発の新たな事業の展開が期待されます。



## 検討テーマ②「地域における子育て応援体制づくり」

平成23年1月18日に開催された第3回区民会議では、2つ目の検討テーマとして取り上げる「地域における子育て応援体制づくり」について議論を行いました。会議では、地域での活動事例を基に地域で子育てを応援していくには、どのような場や仕組みが必要か検討しました。

### ○ 現状及び課題の把握

会議では、実際に中原区で展開されている子育て支援策を対象年齢や行政の関与度別に整理を行い、地域での現状や課題の把握を行いました。区民会議として「今ある制度を拡充するのか」「足りない分野を補うのか」などに論点を絞り、意見交換を行いました。今後は、地域で実施されている子育て支援策を研究することが決定され、次年度に議論をつなげていくこととしました。

